



2026 年 9 月 28 日

## コーポレート・ガバナンスの高度化に向けた本部組織の改定について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、パーパス・ビジョンの実現に向けたガバナンス体制のさらなる高度化を図るため、2026 年 10 月 1 日(木)付で経営企画部内に「コーポレートセクレタリー室」を新設します。

### 記

#### 1. 経営企画部 コーポレートセクレタリー室の新設

2026 年 7 月にコーポレートガバナンス・コードが約 5 年ぶりに改訂され、持続的な企業価値向上に向けた成長戦略の推進や経営資源配分の最適化、より実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築が求められています。また、取締役会の機能強化に加え、取締役を支援する事務局機能（コーポレートセクレタリー等）の重要性が一段と高まっています。

さらに、当行グループにおいて、2027 年 4 月に予定する持株会社体制（監査等委員会設置会社）への移行を見据え、関連機能を一段と強化しつつ、一体的に高度化を図っていく必要があると認識しています。

こうした課題認識のもと、ガバナンス関連情報の一元化や取締役会アジェンダの充実、社外取締役へのサポート体制の強化等を加速させるための専担部署として、経営企画部内に「**コーポレートセクレタリー室**」を新設します。

同室による統括のもと、関連各部とも緊密に連携しながら、取締役会をはじめとする各種機能の実効性向上を図るとともに、専門性を備えた人材の育成を進め、当行グループのさらなる企業価値向上に資するガバナンス体制の構築に取り組んでまいります。

#### 2. 実施日

2026 年 10 月 1 日（木）

以 上